【立川綜合病院　周術期に休薬が必要な抗がん剤（分子標的治療薬）及び類似薬】

※ここに挙げた薬剤は、血管新生阻害作用による創傷治癒遅延や、出血の可能性があるため、周術期には休薬が必要です。

分類	一般名	商品名（青字は当院採用）	休薬期間
抗がん剤	ベバシズマブ	アバスチン点滴静注用【警】	医師の指示通り
		ベバシズマブBS点滴静注【警】	
	イブルチニブ	イムブルビカカプセル	
	アキシチニブ	インライタ錠	
	パゾパニブ塩酸塩	ヴォトリエント錠	
	バンデタニブ	カプレルサ錠	
	カボザンチニブリンゴ酸塩	カボメティクス錠	
	アカラブルチニブ	カルケンス錠、カプセル	
	ラムシルマブ	サイラムザ点滴静注液	
	アフリベルセプト ベータ	ザルトラップ点滴静注	
	サリドマイド	サレドカプセル	
	ピルトブルチニブ	ジャイパーカ錠	
	スニチニブリンゴ酸塩	スーテントカプセル	
		スニチニブ錠	
	レゴラフェニブ水和物	スチバーガ錠	
	テムシロリムス	トーリセル点滴静注液	
	ソラフェニブトシル酸塩	ネクサバール錠	
	フルキンチニブ	フリュザクラカプセル	
	ザヌブルチニブ	ブルキンザカプセル	
	チラブルチニブ塩酸塩	ベレキシブル錠	
	シロリムス	ラパリムス錠、顆粒	
	レンバチニブメシル酸塩	レンビマカプセル	
特発性肺線維症・間質性肺疾患治療薬	ニンテダニブエタンスルホン酸塩	オフェブカプセル	

参考資料：添付文書、インタビューフォーム、適正使用ガイド
※【警】は添付文章上の警告項目に関連文章が記載されていることを示しています。

術前休薬検討小委員会　2026年9月15日 改訂（ver.6）

【立川綜合病院　周術期に休薬が必要な糖尿病薬】

※SGLT2阻害薬はケトアシドーシスの恐れ、ビグアナイド薬は乳酸アシドーシスの恐れがあるため、周術期には休薬が必要です。
※インスリンを除く糖尿病薬は、添付文書上手術前後の患者への投与が禁忌であるため、この一覧以外の糖尿病薬も当日から休薬が必要です。
※術後、食事が十分摂れるようになってから再開を検討してください。

分類	一般名	商品名（青字は当院採用）	休薬期間の目安（手術当日を含まない）
SGLT2阻害薬	イプラグリフロジン L-プロリン	スーグラ錠	3日 （糖尿病を合併しない心不全患者は手術当日から中止） ※SGLT2阻害薬の適正使用に関するレコメンデーションに準じた
	トホグリフロジン水和物	デベルザ錠	
	ダパグリフロジン	ダパグリフロジン錠、OD錠	
	ダパグリフロジンプロピレングリコール水和物	フォシーガ錠	
	ルセオグリフロジン水和物	ルセフィ錠、ODフィルム	
	カナグリフロジン水和物	カナグル錠、OD錠	
	エンパグリフロジン	ジャディアンス錠	
SGLT2阻害薬＋DPP-4阻害薬	イプラグリフロジン L-プロリン・シタグリプチンリン酸塩水和物配合剤	スージャヌ配合錠	
	カナグリフロジン水和物・テネリグリプチン臭化水素酸塩水和物配合剤	カナリア配合錠	
	エンパグリフロジン・リナグリプチン配合剤	トラディアンス配合錠	
ビグアナイド薬	メトホルミン塩酸塩	メトグルコ錠	術前2日～術後2日 ※添付文書の記載、半減期等を考慮した
		グリコラン錠	
		メトホルミン塩酸塩錠MT	
ビグアナイド薬＋DPP-4阻害薬	メトホルミン塩酸塩・ビルダグリプチン配合剤	エクメット配合錠	
		メホビル配合錠	
	メトホルミン塩酸塩・アログリプチン安息香酸塩配合剤	イニシンク配合錠	
	メトホルミン塩酸塩・アナグリプチン配合剤	メトアナ配合錠	
ビグアナイド薬＋チアゾリジン薬	メトホルミン塩酸塩・ピオグリタゾン塩酸塩配合剤	メタクト配合錠	

参考資料：添付文書、糖尿病治療におけるSGLT2阻害薬の適正使用に関するレコメンデーション（日本糖尿病学会 2022）、CKD治療におけるSGLT2阻害薬の適正使用に関するレコメンデーション（日本腎臓学会 2022）、心不全治療におけるSGLT2阻害薬の適正使用に関するレコメンデーション（日本循環器学会・日本心不全学会 2023）

※T-Macss上のPDF版では薬剤名の検索が可能です。

術前休薬検討小委員会　2026年9月15 改訂（ver6）